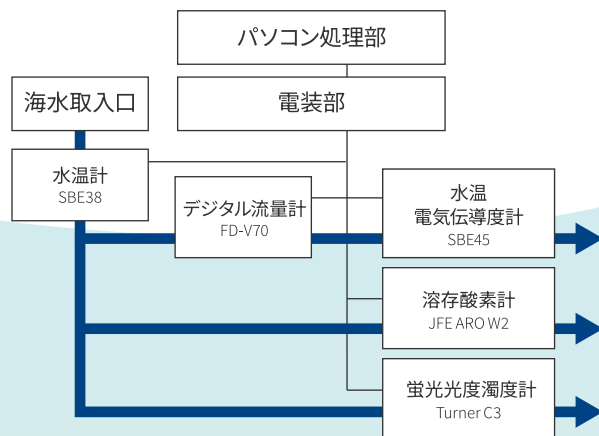


表層海水連続分析装置 MW-HSYS-02

船内に取り込んだ海水の水温・塩分・クロロフィル・溶存酸素を連続計測し、表層のデータセットを作るシステムです。

船からの航法情報を取り込み、位置情報や時刻をデータセットに取り入れることが可能です。



構成	配管部、電装部、処理部	
測定項目	水温 : Sea-Bird electronics社製 SBE38 溶存酸素 : JFEアドバンテック社製 AROW2 クロロフィル、濁度 : Turner Designs社製 Turner C3	水温、塩分 : Sea-Bird electronics社製 SBE45 流量 : キーエンス社製 FD-V70
配管部	1台(フレーム、配管、センサを含む) 取り込み海水流量 : 約12L/min 寸法 : 約W1,030×D550×H1,000(mm) ※漏水パレット含む 重さ : 約70Kg 船底水温計 : 各種フランジ対応	
電装部	1台 / 付属センサへの電源供給(スイッチ有) / 流量の表示、漏水検知 寸法 : 約W430×D280×H205 (mm) 重さ : 約10kg	
処理部	1台(コンピュータ、計測・制御ソフトウェアを含む) <ul style="list-style-type: none"> 各種センサの制御、データ保存、グラフ描画 航法情報の取り込み、センサデータの出力 センサ異常と定時通知を船内E-Mailで通知 溶存酸素センサの校正係数の適用、塩分補正の適用 センサ通信状態と値状態の表示 補正試料の採取情報を記録 	
電源	電装部 : 単相交流100V, 2A	処理部 : 単相交流100V, 6A
実績	国立研究開発法人海洋研究開発機構「みらい」、「かいめい」	

仕様

